■外来診療日一覧

今号の一覧表は、4月1日付変更の情報も掲載されています

■休診日　土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12/29－1/3)
■初診受付時間　8:30－11:00(窓口)
■再診受付時間　8:15－17:00(自動再来受付機)、8:20－17:00(窓口)
■外来玄関開閉時間　7:30－18:00

■外来診療棟

階/受付	診療科名	初診日	再診日
4階/西	心療内科 TEL 092-642-5335	月・木	火・水・金
	呼吸器科 TEL 092-642-5388	月・水・金 ※要紹介状	月・火・水・金
	外科 ●消化管外科(1) ●胆道・膵臓・膵臓移植・腎臓移植外科 ●呼吸器外科(1) ●乳腺外科(1) ●内分泌外科 TEL 092-642-5453	火・木	火・木
	外科 ●消化管外科(2) ●肝臓・脾臓・門脈・肝臓移植外科 ●呼吸器外科(2) ●乳腺外科(2) ●血管外科 TEL 092-642-5479	月・水・金	月・水・金
	先端医工学診療部 TEL 092-642-5993	月・水・金	月・水・金
4階/東	産科(再診時のみ) TEL 092-642-5900 婦人科 TEL 092-642-5409	月一金 ※要紹介状	月一金
	ペインクリニック(麻酔科蘇生科) TEL 092-642-5719	月・火・水・金	月一金
4階/東第2	再生歯科・インプラントセンター TEL 092-642-6361	月一金	月一金
3階/西	内科 ●血液・腫瘍内科 ●免疫・膠原病・感染症内科 ●消化管内科 ●腎・高血圧・脳血管内科 ●内分泌代謝・糖尿病内科 ●肝臓・膵臓・胆道内科 TEL 092-642-5302	月一金 ※専門の疾患によって曜日が異なります。お問い合わせの上お越しください。 ※要紹介状	月一金
	先端分子・細胞治療科 TEL 092-642-5302、5996	月一金	月一金
3階/東	ハートセンター外来 TEL 092-642-5371 TEL 092-642-5565 ①循環器内科 ②血液・腫瘍内科(心臓血管グループ) ③心臓血管外科	①月一木 ②火・水・金 ③月・水・木 ※①と③は要紹介状	①月・水 ②火一金 ③火・木
	皮膚科 TEL 092-642-5597	月・水・金 ※要紹介状	火・木
	耳鼻咽喉・頭頸部外科 TEL 092-642-5681	火・木	月・水・金
	形成外科 TEL 092-642-5510	月・水・金	月・水・金

階/受付	診療科名	初診日	再診日
2階/西	神経内科 TEL 092-642-5349	火・木・金	月・水
	脳神経外科 TEL 092-642-5533	月・水・金	月・水・金
	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科 TEL 092-642-5615	火・木	月・水・金
2階/西第2	精神科神経科 TEL 092-642-5640 子どものこころの診療部 TEL 092-642-5642	火・木 ※要紹介状	月一金
2階/東	眼科 TEL 092-642-5660	月・水・金	月一金
1階/西	整形外科 TEL 092-642-5504	月・水・金 ※要紹介状	月一金
	放射線科 TEL 092-642-5705	月・水・金 ※放射線／ヨード治療は要予約	月一金
	総合診療科 TEL 092-642-5300	月一金	月一金

棟	階	診療施設等	電話番号
外来診療棟	4階	ストーマ看護外来(月一金)	092-641-1151
		助産師外来(月一金)	092-642-5900
	3階	糖尿病フットケア外来(水・金)	092-642-5302
		リンパ浮腫外来(木)	092-642-5409(産) 092-642-5615(泌)
	2階	外来化学療法室	092-642-5125
		がん相談支援室・緩和ケア	092-642-5200
	1階	総合案内	092-642-6270
		外来受付	092-642-5138
		入院受付	092-642-5150
		公費相談窓口	092-642-5736
		支払窓口	092-642-5169
		患者さん相談窓口	092-642-5132
		医療連携センター	092-642-5165
		社会福祉相談窓口	092-642-5167
		在宅療養支援室	092-642-5185
		ARO 次世代医療センター	092-642-5858
		睡眠障害呼吸センター(火・水・木・金)	092-642-5988
		禁煙外来(月一金)	092-642-5300
		粒子線がん治療外来(火・木)	092-642-5705
		渡航外来(火・水)	092-642-5021
	4階	周術期口腔ケアセンター	092-642-6509

棟	階	診療施設等	電話番号
北棟	2階	難病情報センター	092-643-1379 092-643-8292
		福岡市認知症疾患医療センター	092-642-6235
南棟	2階	栄養相談室	092-642-5180
	1階	時間外受付	092-642-5163
		リハビリテーション受付	092-642-5862

■北棟

階/受付	診療科名	初診日	再診日
5階/西	小児科 TEL 092-642-5430	月一金 ※専門医が診療できない場合があります。 ※要紹介状	月一金
	小児外科、小腸移植外科 TEL 092-642-5578	月・水・金	月・水・金
	臨床遺伝医療部 TEL 092-642-5421	月一金	金
	小児歯科・スペシャルニーズ歯科 TEL 092-642-6465	月一金	月一金
	矯正歯科 TEL 092-642-6460	月一金	月一金
5階/東	全身管理歯科 TEL 092-642-6483	月一金	月一金
	顎口腔外科 TEL 092-642-6445	月一金	月一金
	顔面口腔外科 TEL 092-642-6450	月一金	月一金
	歯科麻酔科 TEL 092-642-6479	月一金	月一金
4階/西	歯周病科 TEL 092-642-6425	月一金	月一金
	歯内治療科 TEL 092-642-6430	月一金	月一金
	咬合補綴科 TEL 092-642-6435	月一金	月一金
	義歯補綴科 TEL 092-642-6440	月一金	月一金
4階/東	歯科総合予診 TEL 092-642-6500	月一金	月一金
	口腔画像診断科 TEL 092-642-6471	月一金	月一金
	口腔総合診療科 TEL 092-642-6490	月一金	月一金

※赤色の曜日は予約が必要です。
※電話予約受付時間14:00－16:00　予約に関するお問い合わせは、各診療科外来へ直接お電話ください。
※再来の方でも、1年以上受診されていない場合には、初診の曜日・時間となり、紹介状をお持ちでない方は治療費とは別に保険外併用療養費として3,240円が必要となることがあります。あらかじめ各診療科外来にお確かめ願います。

平成26年4月現在

病院にお越しの際は保険証をお忘れなく!
※保険証の呈示がない場合には、保険での取扱いができません。

外来患者さんへ
◎本院のお薬は原則として「院外処方」としています。「院外処方せん発行」にご協力ください。
◎外来患者さん用の駐車場を準備していますが、駐車台数が限られていますので、できるだけ公共の交通機関をご利用いただきますようご協力願います。

■病院の理念
患者さんに満足され、医療人も満足する医療の提供ができる病院を目指します。

■基本方針【理念に基づく実行目標として、下記の5つを掲げています】
①地域医療との連携及び地域医療への貢献の推進
②プライマリ・ケア診療の充実
③全人的医療が可能な医療人の養成
④専門医療の高度化を目指した医学研究の推進
⑤国際化の推進

九州大学病院
KYUSHU UNIVERSITY HOSPITAL
TEL 092-641-1151[代表]　FAX 092-642-5146[外来]
〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1番1号
〈ホームページ〉 http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp

予約センター（初診患者さん専用）
受付時間　9:00－16:00(平日のみ)
受付FAX番号　092－642－5509
お問い合せ番号　092－642－5508

九州大学病院
KYUSHU UNIVERSITY HOSPITAL

九大病院だより

第54号
平成26年4月

九州大学病院 広報委員会発行

病院長新任挨拶

石橋 達朗（いしばし たつろう）

110年余りの歴史のある九州大学病院にも、春が訪れました。

今や約3000人の職員、病床数約1400床を誇る国内有数の九州大学病院は現在、医学部（医学科・保健学科・生命科学科）と歯学部の部局統合体となり、診療、教育、研究において伝統を受け継ぎながらも常に先端を目指し、機能を十二分に発揮できるよう努力しています。

国立大学の法人化により大学病院も独自で運営し、経営努力が求められるようになりました。病院間での格付けの時代にも入っています。また安倍政権の方針として、医療に関する政策も多く、その一端を担うことも必要で、大学病院の果たす役割は確実に増えています。さらに最近の医療事情は、医師不足、地域医療の崩壊、医療事故、医療紛争など多くの問題があり、また超高齢化社会が身近に差し迫っています。

これらの問題を受け止めながら、九州大学病院が九州に拠点を置き、高度医療機関として世界、特にアジアにも開かれた国際的で先進的先端基幹病院となるために、次のように考えています。

一、がんなどの難治性疾患、救急、移植医療に対する最高水準の診断や治療の提供、それを支える基礎、臨床研究の強化。近い将来には、再生医療、遺伝子治療の実現なども大切で、今後さらなる診療と研究のバランスがとれた高度な病院機能の構築が必須と考え、これを目指します。

二、学生の卒前教育や卒後研修のため、また専門研修を目指す若い人達のために、高度で全人的医療が可能な教育体制を整え、設備の充実を図り、それらの国際化を推進したいと考えています。

三、民主的で安心でき、働きやすい環境の職場づくり、健全な経営基盤に基づく病院運営、改革を図ります。

「患者さんに満足され、医療人も満足する医療の提供が出来る病院」という九州大学病院の理念を常に意識し、信頼される病院を心がけたいと思います。

最新の設備、システムが整った環境と、有能な人材に恵まれた九州大学病院です。これらの貴重な財産を大いに活用し、日本の医療をリードし、世界に認められ、多くの人々に貢献できる病院になるべく、職員の方々と共に協力、努力していきたいと考えています。よろしくお願いします。

エッセイ Essay

九州大学病院脳神経外科のミッション
—For the Patient, For the Best—

脳神経外科

飯原 弘二（いいはら こうじ）
Koji Iihara

2013年10月から脳神経外科教室を担当しています。私たちは、治療困難な脳神経外科の病気に対して、"For the Patient, For the Best" を合い言葉に、日夜全力で治療にあたっています。

脳神経外科医に必要な技量は、マイクロサージェリー(※1)が基本でありながらも、時代とともに高度化、多様化しています。より低侵襲、安全な治療を求めて、悪性脳腫瘍、頭蓋底腫瘍、治療困難な脳血管障害、難治性てんかんなど脳神経外科領域の全般において、血管内治療、定位放射線治療、遺伝子療法などを含めた集学的治療の開発を推進し、悪性脳腫瘍の増殖、脳動脈瘤の増大と破裂、閉塞性脳血管障害の症候化など、生体機能を可視化できる分子イメージング(※2)を実用化し、分子標的療法、再生医療技術などを併用することにより、有効性の高い画期的な治療法を確立したいと考えています。

また教育面では、指導者としての脳神経外科医、研究者(Surgical scientist)を育て、有為な人材を全国に輩出することが最も重要だと考えています。

九州大学病院の新生脳神経外科に対する倍旧のご支援、ご鞭撻をお願いします。

※1　顕微鏡を使って行う微細な部分の外科手術
※2　放射線技術などを使い、体内の遺伝子やタンパク質などの分子の動きを画像でとらえる

▶▶▶ 診療科のご案内 ①

歯 科 麻 酔 科

そのままでは歯科治療を受けることのできない小児のために全身麻酔を施行しています。

歯の痛みは最も不快な痛みの一つですが、局所麻酔の注射や削られる感覚などが嫌で、治療が受けられない方もいます。また、全身的な病気や障がいがあると、近所の歯科医院では治療を受けられないこともあります。

歯科麻酔科外来では、通常の歯科治療を受けられない患者さんや障がいのある患者さんに対して、歯科治療の際の日帰り全身麻酔を行っています。また、歯科治療に対して不安の強い患者さんには、リラックスした状態で治療が受けられる静脈内鎮静法も提供しています。その他、口腔領域の不快な痛みを軽減するための慢性疼痛治療も行っています。歯科麻酔科外来以外でもインプラントセンターでの手術に静脈内鎮静法を提供しています。手術室では口腔外科手術のための全身麻酔を行っています。

歯科麻酔科：http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp/shinryo/dent/09/index.html

▶▶▶ 診療科のご案内 ②

形 成 外 科

身体に生じた組織の異常や変形、欠損、あるいは整容的な不満足に対して、あらゆる手法や特殊な技術を駆使し、機能のみならず形態的にもより正常に、より美しくすることによって、患者さんの生活の質“Quality Of Life”(QOL)の向上に貢献する外科系の専門領域です。

これまで、形成外科領域の疾患に対して九州大学病院では、症例ごとに耳鼻咽喉・頭頸部外科、皮膚科、整形外科、眼科など複数科で協力し、対応してきましたが、形成外科的技術が必要な手術が毎年増加している現状をふまえ、２月１日に形成外科を新たに設置しました。

今後、診療科ごとに対応していたさまざまな外科的疾患に即応でき、高度な専門治療が提供できるなど、患者さんの利便性や安全管理の向上につながっていきます。

形成外科：http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp/shinryo/geka/13/index.html

■連載 メディカルスタッフを紹介します[12]

このコーナーでは本院の医療スタッフの役割を順次、紹介します

チャイルド・ライフ・スペシャリスト(CLS)

チャイルド・ライフ・スペシャリスト(CLS)は、北米の資格で米国の医療現場において子どもの体験を改善するために発展しました。CLSはおもに医療現場における子どもの心理社会的支援を行います。子どもの理解、発達に応じた検査・治療・手術にむけた説明や準備を行い、子どもが主体的に医療体験に臨めるように支援します。日本では2014年現在、31名のCLSが26病院で活動しています。九州大学病院では2014年１月から２名のCLSが小児内科、外科病棟にて活動を開始しました。多職種と連携し、「子ども・家族中心医療」の提供を目指します。

デンタル・マキシロフェイシャルセンター開設

このたび2014年２月１日から九州大学病院にデンタル・マキシロフェイシャルセンターを開設しました。当センターは口唇裂・口蓋裂をはじめとする口腔顎顔面先天異常の一貫治療、顎変形症に対する顎矯正治療とさまざまな障がいのある成人の歯科治療を行うための専門歯科施設です。

これまで九州大学病院では口唇裂・口蓋裂や顎変形症、障がいを抱えた患者さんの歯科治療は顎口腔外科、顔面口腔外科、矯正歯科、小児歯科・スペシャルニーズ歯科がそれぞれの専門チームで行っていましたが、歯科部門内での連携や医科部門各科との連携を強化する目的で、小児歯科・スペシャルニーズ歯科、矯正歯科、顎口腔外科、顔面口腔外科が中心となって全ての歯科専門診療科の連携を確立し、上記疾患の集学的診療単位として「デンタル・マキシロフェイシャルセンター」に再編しチーム医療を推進します。

対象疾患

1．口唇裂・口蓋裂をはじめとする口腔顎顔面先天異常の一貫治療
2．顎変形症に対する顎矯正治療
3．さまざまな障がいのある成人の歯科治療

片側性唇裂患者さんの治療例
手術や装具を含む集学的治療により口腔・顎・顔面の調和のとれた形態や機能を回復します。

九州大学病院別府病院のご紹介

外　　科

九州大学病院別府病院外科は、おもに消化器がんや乳がんの診療、一般外科診療を行っています。特に体に優しい医療（低侵襲治療）とあきらめない医療（難治がんの治療）の実現を目指しています。

低侵襲治療として、胃がんまたは大腸がん症例の多くや一部の肝がんや膵がん症例は、傷が小さく、回復の早い腹腔鏡手術を積極的に行っています。胆石症などには、通常の腹腔鏡手術だけでなく、１か所の小さい傷のみでできる単孔式腹腔鏡手術も行っています。一方で、肝がんや膵がんに対する肝切除術や膵切除術などの高難度手術は、大分県内でも数少ない肝胆膵外科高度技能指導医が治療を行っています。

また内科、放射線科などの他科と密に連携して、手術だけでなく、化学療法や放射線治療、カテーテル治療など、がん患者さん一人ひとりの病状や希望に合わせた最適な医療を提供しています。

■10階病棟ミニコンサート開催

昨年12月25日、10階病棟デイルームで「クリスマスミニコンサート～フルートと金管アンサンブルのタベ～」が催されました。演奏者は、九州大学馬出吹奏楽部の学生と職員(ラッパ医師)。本番前の音合わせの頃からたくさんの聴衆が続々と詰めかけ、会場は賑わいました。

フルートやサックス、トランペットなどの金管楽器とともに、馴染み深い楽曲が演奏されると会場はクリスマス一色に。また、「荒野の果てに」「もろびとこぞりて」とシーズンには欠かせない曲の演奏が始まると、自然と聴衆から歌声がこぼれるなど、和やかな雰囲気に包まれました。

終盤では「花は咲く」「きよしこの夜」を全員で合唱し、演奏者と聴衆が一体となって、クリスマスを満喫したタベとなりました。

■自動演奏ピアノが設置されました

サクラの満開も伝えられた３月26日、九州大学病院１階ホスピタルモールにてスプリングコンサートが開催されました。

このコンサートは今回、椎木正和様のご厚意により寄贈されたグランドピアノのお披露目を兼ねたもの。九州大学職員のピアノ独奏による幻想曲「さくら さくら」や、九州交響楽団ピアノ三重奏による「花のワルツ」など、馴染み深い曲が演奏され、季節を満喫する楽しいひと時となりました。

ピアノは１日２回(７：45～、12：00～)、自動演奏されますので、耳を傾けてみてください。

また、外来診療棟１階のライトコートには、同じく椎木様の寄贈によって、季節の植栽も設置されています。来院の際には、ぜひ、ご覧ください。